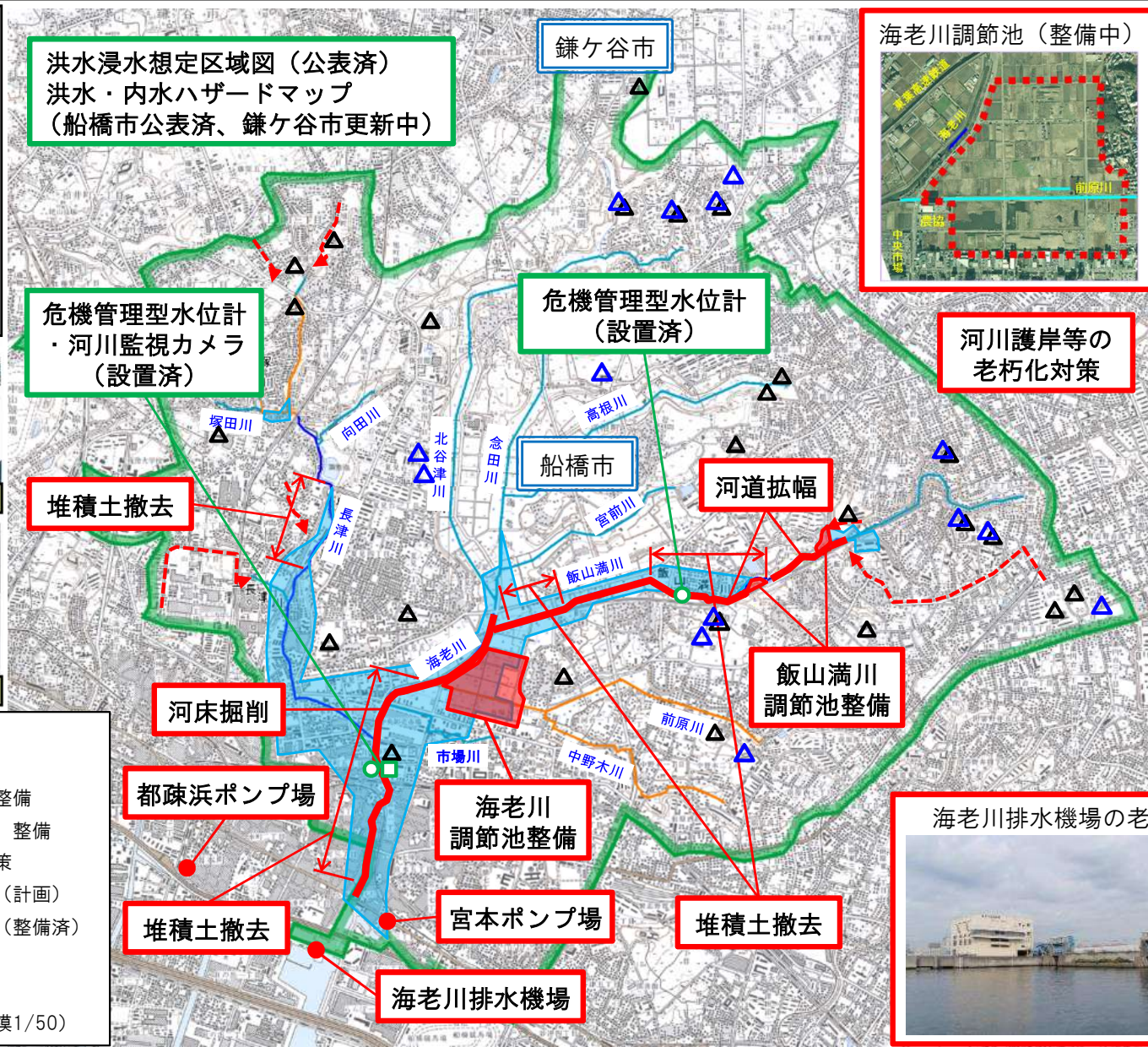


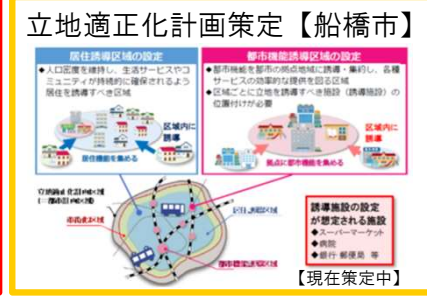
○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、海老川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、年超過確率1/10程度（時間雨量約50mm）の規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
  - ・河道拡幅、河床掘削、調節池整備
  - ・堆積土撤去、河川護岸等の老朽化対策
  - ・学校の校庭等を活用したオンサイト貯留
  - ・排水機場の老朽化対策
  - ・公共下水道（雨水）の整備
  - ・雨水貯留浸透施設等の設置
  - ・自然地の保全等、透水性舗装

- 被害対象を減少させるための対策
  - ・立地適正化計画の策定・運用【現在策定中】（居住誘導区域の設定）

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
  - ・洪水浸水想定区域図（公表済）
  - ・危機管理型水位計、河川監視カメラ
  - ・水害対応タイムラインの活用
  - ・マイ・タイムラインの普及啓発
  - ・避難確保計画策定に向けた周知を行い、随時支援を実施
  - ・学校や各町会、自治会等の求めに応じ、講話等を実施
  - ・洪水・内水ハザードマップ（船橋市公表済、鎌ヶ谷市更新中）
  - ・防災ハンドブックの作成、配布
  - ・窓口にて浸水履歴を公開



- 【凡例】
- 流域界
  - 河川改修・調節池整備
  - 公共下水道（雨水）整備
  - 排水機場老朽化対策
  - 雨水貯留浸透施設（計画）
  - 雨水貯留浸透施設（整備済）
  - 危機管理型水位計
  - 河川監視カメラ
  - 浸水想定（計画規模1/50）

- 海老川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
  - 【短期】河川における対策として、土地区画整理事業に合わせて飯山満川の河道拡幅を推進するとともに、海老川調節池の本格施工に着手する。また、海老川、飯山満川、長津川等においては堆積土撤去を実施する。
  - 【中期】飯山満川の上流区間について河道拡幅を推進するとともに、海老川調節池については貯留効果を早期に発現するため、段階的な暫定供用を目指す。また、必要に応じて、堆積土撤去を実施する。
  - 【中長期】引き続き、飯山満川の河道拡幅、海老川調節池の整備、海老川の河床掘削等を推進し、海老川水系全体の整備完了を目指す。
- あわせて、流域の市街化率が8割を超えている状況を踏まえ、都市浸水対策の強化（排水機場の老朽化対策、公共下水道の整備等）および雨水流出抑制対策（雨水貯留浸透施設等の設置）を実施するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を推進する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅、河床掘削、調節池整備	千葉県	飯山満川の河道拡幅、海老川調節池の整備、海老川の河床掘削等		
	堆積土撤去	千葉県、船橋市	3河川等で実施	定期的に見直し実施予定	
	河川護岸等の老朽化対策	千葉県、船橋市	継続して実施		
	学校の校庭等を活用したオンサイト貯留	船橋市	市立小学校、中学校等の14箇所を実施		
	排水機場の老朽化対策	千葉県、船橋市	海老川排水機場、都疎浜ポンプ場、宮本ポンプ場等で実施		
	公共下水道(雨水)の整備	船橋市	暫定運用		本格運用
	雨水貯留浸透施設等の設置、自然地の保全等、透水性舗装	関係市	継続して実施		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定・運用【現在策定中】(居住誘導区域の設定)	船橋市	策定・運用	定期的に見直し運用	
	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	増設予定	定期的に見直し更新予定	
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、関係市	継続して実施		
	マイ・タイムラインの普及啓発、避難確保計画策定に向けた周知・支援、講話等	船橋市	継続して実施		
	防災ハンドブックの配布、浸水履歴公開	船橋市	継続して実施		

【事業費(R3以降の残事業費)】  
 ■河川対策  
 全体事業費 248.4億円  
 河道拡幅、調節池整備等

気候変動を踏まえた  
 更なる対策を推進